

高齢者等実態調査の調査項目について

(1) 区民向け調査項目

厳：国厳選項目（優先順位1位）

必：国必須項目（優先順位2位）

オ：国オプション項目（優先順位3位）

※【 】がある設問は、選択肢としてそれを選んだ方に対する設問

カテゴリー	項番	調査項目	① 介護予防・日常生活圏ニーズ調査		② 50歳以上の現役世代調査		③ 在宅介護実態調査（郵送）		④ 在宅介護実態調査（聞き取り）	
			区	国	区	区	区	国	区	国
あなたご自身、 家族や暮らし	1	調査票の記入日	○							
	2	調査票の記入者、聞き取り対象者（本人、家族等）	○				○	必	○	
	3	対象者の要支援度	○							
	4	対象者の年齢	○		○		○	オ		
	5	家族構成	○	必			○	必	○	厳
	6	【ひとり暮らし以外の方】同居の方は全員が65歳以上か	○				○			
	7	対象者の現在の暮らしの経済状況（苦しい、ゆとりがある等）	○	必						
	8	対象者の要介護度					○	必		
お住まい	9	対象者の住まいの形態（一戸建て、集合住宅等）	○	オ	○	○				
	10	現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいか	○		○	○				
	11	住まいについて不便や不安を感じていること	○		○	○				
日常生活	12	階段を手すり等を使わず昇れるか	○	必						
	13	椅子から何もつかまらず立ち上がれるか	○	必						
	14	15分続けて歩けるか	○	必						
	15	過去1年で転んだ経験はあるか	○	必						
	16	転倒への不安は大きいかどうか	○	必						
	17	対象者の外出の頻度（週に1回以上外出しているか）	○	必						
	18	去年と比べて外出の回数が減っているか	○	必						
	19	身長・体重	○	必						
	20	食事・栄養、口の健康について	○	必						
	21	歯の数と入れ歯の利用状況について	○	必						
	22	誰かと食事をする機会はあるか	○	必						
	23	対象者が現在の生活で不安に感じていること	○		○					
	24	車の運転をしているか	○							
	25	【運転している方】運転している主な理由	○							
	26	【免許を持ち運転していない方】免許を返納しない主な理由	○							
27	物忘れが多いか	○	必							
28	バスや電車を使って1人で外出するか	○	必							
29	自分で食品・日用品の買物をしているか	○	必							
30	自分で食事の用意をするか	○	必							
31	自分で請求書の支払いをするか	○	必							
32	自分で預貯金の出し入れをするか	○	必							
33	今後（65歳以降）希望する働き方	○		○						

カテゴリー	項番	調査項目	① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査		② 50歳以上の現役世代調査		③ 在宅介護実態調査(郵送)		④ 在宅介護実態調査(聞き取り)	
			区	国	区	区	国	区	国	
介護等	34	対象者が介護を必要としているかどうか	○	必						
	35	介護が必要になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと	○		○	○				
	36	(介護が必要になった場合に)希望する暮らし方(介護保険サービスを利用し自宅で生活等)	○		○	○				
	37	終末期を迎える場所の希望	○		○	○				
	38	対象者が家族等の介護をしているか	○		○					
	39	2人以上の介護や子育て等をしているか	○		○	○		○		
	40	【介護等をしている人】介護される人及び子育て支援者の人等全員とその人数	○		○	○		○		
	41	高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと	○		○	○				
	42	高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)の認知度	○		○	○				
	43	施設等への入所・入居の検討状況				○	才	○	徹	
	44	対象者の現在の介護保険サービスの利用状況				○		○	才	
	45	対象者の1か月間の介護保険サービスの利用状況				○	才			
	46	【利用者】利用した介護保険サービスの種類と利用回数				○	才			
	47	【未利用者】介護保険サービスを利用していない理由				○	必	○	才	
	48	【未利用者】今後利用したい介護保険サービス				○				
	49	対象者が知っている介護保険サービス				○				
50	介護保険サービス以外に対象者が利用している支援・サービス(配食、調理等)				○	才	○	才		
51	今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス				○	才	○	才		
認知症	52	対象者が認知症について知っていること	○		○	○				
	53	認知症の相談をする場合、どの相談窓口を利用するか	○		○	○				
	54	認知症に関するどのような区の事業を知っているか	○		○	○				
	55	認知症について知りたい場合、どのような方法で情報収集するか	○		○	○				
	56	認知症高齢者や家族へ必要な支援	○		○					

カテゴリー	項番	調査項目	① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査		② 50歳以上の現役世代調査		③ 在宅介護実態調査(郵送)		④ 在宅介護実態調査(聞き取り)	
			区	国	区	区	国	区	国	
健康・介護予防	57	対象者の現在の健康状況(とてもよい、よくない等)	○	必	○	○				
	58	現在どの程度幸せか(0~10点を選ぶ)	○	必						
	59	この1か月間に気分が沈む等があったか	○	必						
	60	この1か月間で物事に対して興味がわかない等の感じがあったか	○	必						
	61	喫煙の有無	○	必						
	62	対象者が健康の維持・増進のため、 <u>現在取り組んでいること</u>	○		○	○				
	63	【取り組んでいない方】取り組んでいない理由	○		○	○				
	64	対象者が健康の維持・増進のため、 <u>今後取り組んでみたいこと</u>	○		○	○				
医療	65	対象者が現在治療中又は後遺症のある病気	○	必	○		必	○	オ	
	66	かかりつけ医の有無	○		○	○				
	67	対象者が過去1年間に訪問による治療を受けた科目	○			○				
	68	対象者が現在訪問による診療を利用しているか				○	オ	○	オ	
	69	かかりつけ医(在宅医療)をどのようにして知ったか	○			○				
地域での活動	70	活動団体やグループ等にどのくらい参加しているか(種類・頻度)(ボランティア、町内会等)	○	必・オ	○					
	71	地域住民による健康づくり等の活動に <u>参加者として参加</u> したいか	○	必	○					
	72	地域住民による健康づくり等の活動に <u>企画・運営として参加</u> したいか	○	必	○					
たすけあい	73	対象者の心配事等を <u>聞いてくれる人は誰か</u>	○	必	○					
	74	対象者が心配事等を <u>聞いてあげる人は誰か</u>	○	必	○					
	75	対象者の看病等を <u>してくれる人は誰か</u>	○	必	○					
	76	対象者が看病等を <u>してあげる人は誰か</u>	○	必	○					

カテゴリー	項番	調査項目	① 介護予防・日常生活圏ニーズ調査		② 50歳以上の現役世代調査		③ 在宅介護実態調査(郵送)		④ 在宅介護実態調査(聞き取り)	
			区	国	区	区	国	区	国	
介護者	77	対象者が家族等から週にどのくらい介護を受けているか					○	才	○	厳
	78	【家族の介護を受けている方】主な介護者の属性(続柄)		才			○	必	○	才
	79	【家族の介護を受けている方】主な介護者の属性(性別)					○	才	○	才
	80	【家族の介護を受けている方】主な介護者の属性(年齢)					○	必	○	必
	81	【家族の介護を受けている方】介護者が行っている介護等(身体介護、生活援助等)					○	必	○	才
	82	【家族の介護を受けている方】家族・親族の中で介護のために離職・転職した人の有無					○	必	○	必
	83	【家族の介護を受けている方】介護者の就労状況(フルタイム、パートタイム等)					○	必	○	厳
	84	【家族の介護を受けている方】【就業中の方】介護をするにあたって働き方の調整をしているか					○	必	○	必
	85	【家族の介護を受けている方】【就業中の方】勤務先からどのような支援があれば両立できるか					○	必	○	才
	86	【家族の介護を受けている方】今後も働きながら介護を続けられるか					○	必	○	厳
	87	【働いていない方】外出の頻度					○		○	
	88	【ふだん外出する方】過去に外出が控えめになったことがあるか					○		○	
	89	上記について克服したきっかけ					○		○	
	90	【ふだん家にいる方】家族以外の人との会話の頻度					○		○	
91	【家族の介護を受けている方】介護者が不安に感じる介護					○	必	○	必	
92	【家族の介護を受けている方】介護者の相談相手					○				
設問数合計			65		31		53		26	

## (2) 事業所向け調査項目

## ⑤ 介護サービス事業所調査

カテゴリー	項番	調査項目
事業概要		事業所名
	1	提供している主なサービス
	1-1	主とするサービスを利用している方の要介護度別利用者数
	2	前年度の収支状況(事業実績)
	3	前年度の介護事業収入に占める人件費の割合
	4	事業所の経営主体(法人の種類)
	5	従業員数(正規、非正規)
人材	6	前年度の従業員の採用者数と離職者数
	7	従業員の過不足状況
	7-1	【従業員不足の事業所】従業員不足の理由
	7-1-1	【従業員の採用が困難な事業所】採用が困難な原因(選択肢)
	7-1-2	【従業員の採用が困難な事業所】採用が困難な要因(記述)
	7-1-3	【従業員の採用が困難な事業所】採用が困難な時間帯及び職種
	8	人材確保のための取組
	9	今後取り組みたい人材確保策
	9-1	【高齢者の介護助手を確保したい事業所】人材確保の見込み
	9-2	【高齢者の介護助手を確保したい事業所】人材確保のために必要な支援
	9-3	【高齢者の介護助手を確保したい事業所】どのような負担軽減が見込まれるか
	10	外国人を雇用しているか
	10-1	【外国人を雇用している事業所】国籍と人数
	10-2	【外国人を雇用している事業所】EPA又は在留資格「特定技能1号又は2号」等により受け入れている人数
	10-2-1	【外国人をEPA又は在留資格「特定技能1号又は2号」等により受け入れている事業所】受入れの効果
	11	EPA又は在留資格「特定技能1号又は2号」等による受け入れ予定
	11-1	【受入れ可能性がある事業所】EPA及び在留資格「特定技能1号又は2号」等での受入れに関する課題
12	介護福祉機器(介護ロボット・ICT機器)の導入並びに従業員の身体的負担軽減及び業務効率に効果があるもの	
13	ワークライフバランスの取組内容	
14	育児・介護休業への対応	

カテゴリー	項番	調査項目
	15	人材育成のための取組
	16	人材の育成・定着のために有効なポイント
	17	高齢者の権利擁護や虐待防止のための取組
	18	高齢者の権利擁護や虐待防止のために重要なこと
	19	従業員からの相談内容(パワハラ、セクハラ等)
	19-1	【職場内のパワハラ、セクハラの相談がある事業所】予防のための取組
	19-2	【利用者及びその家族からのパワハラ、セクハラの相談がある事業所】相談への対応
危機管理体制	20	災害発生時への準備・対策
	20-1	【BCPを作成していない事業所】作成していない理由
	21	災害発生時への対応訓練の実施状況
	22	不審者等に対しどのような準備対策を行っているか
	23	感染症予防等への取組
サービス向上	24	サービスの質向上への取組
医療との連携	25	医療との連携について行っている取組
	26	医療と介護の連携を進める上で必要と感ずること
8050問題	27	ひきこもりと思われる家族がいる世帯の話を見聞きしたことがあるか
	27-1	【ひきこもりと思われる家族】件数
	27-2	【ひきこもりと思われる家族】続柄、性別、年代
	27-3	【ひきこもりと思われる家族】利用者から相談を受けたことがあるか
	27-4	【相談を受けた場合】どのように対応したか
ダブルケア	28	子育て等と介護を同時に行う家族がいる世帯の話を見聞きしたことがあるか
	28-1	【子育て等と介護を同時に行う家族】件数
ヤングケアラー	29	若年の子どもによる介護を見聞きしたことがあるか
	29-1	【若年の子どもによる介護】件数
	29-2	【若年の子どもによる介護】続柄、性別、年代
	29-3	【若年の子どもによる介護】ケース内容
	30	若年の子どもが介護を行うことにより生じる問題
事業展開等	31	文京区の高齢福祉施策や介護保険制度について、区からの必要な支援

## ⑥ 介護事業従事者調査

カテゴリー	項番	調査項目
基礎情報	1	性別
	2	年齢
	3	住所、通勤手段及び通勤時間
	4	職場のサービス種別(特別養護老人ホーム等)
	5	勤務先の全体職員数
就業形態	6	就業形態(正規職員等)
	7	職種(介護支援専門員等)
	8	職位(管理者、主任等)
	9	今より上位の職位を目指すか
	10	社会人としての就労年数
	11	介護の仕事に興味を持ったきっかけ
	12	現在の職業を選んだ理由
	13	現在の職場のことを知ったきっかけ
	14	現在の職場を選んだ理由
資格	15	現在取得している資格
	16	今後取得したい資格
研修・講習会	17	職場以外で行われた研修等への参加
	17-1	【研修等に参加した方】文京区が主催した研修等への参加
	17-2	【研修等に参加した方】研修等の内容及びその後の業務への活用
	17-3	【研修等に参加していない方】参加していない理由
	18	今後どのような研修等に参加したいか
勤務条件	19	昨年の収入及び満足度
	20	主たる収入以外の収入及び満足度
	21	1週間に働く労働日数
	22	1週間に働く労働時間
	23	深夜勤務はあるか
	23-1	【深夜勤務がある方】1か月当たりの深夜勤務日数

カテゴリー	項番	調査項目
	24	有給休暇の取得状況
職場環境	25	現在の仕事の満足度
	26	今後も介護の仕事を続けたいか
	27	労働条件、仕事の負担についての悩み、不安、不満等
	28	職場の人間関係についての悩み、不安、不満等
	29	利用者についての悩み、不安、不満等
	30	利用者の家族についての悩み、不安、不満等
	31	セクハラ・パワハラ・マタハラ等の経験
	32	現在の職場についてのやりがい(働きがい)
	33	介護に携わる人材を増やすために必要なこと
	34	介護の仕事を人に勧めたいか
	34-1	問34の回答を選んだ理由
意見、要望	35	文京区の高齢福祉施策や介護保険制度への意見、要望



## 高齢者等実態調査の調査項目に対する委員意見等

- ※ 調査の種類…① 第1号被保険者又は要支援認定者(65歳以上)の方(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(要介護1～5以外の高齢者))  
 ② ミドル・シニア世代(50歳～64歳)の方を対象とした調査(50歳以上の現役世代調査)  
 ③ 要介護認定者の方(在宅介護実態調査(郵送)) ④ 在宅介護実態調査(聞き取り)  
 ⑤ 介護サービス事業所調査 ⑥ 介護従事者アンケート調査

※ 意見の種類…設問の追加、修正、削除、意見、その他

※ 対応の種類…○(取り入れる)、△(修正等をして取り入れる)、×(対応が難しい)

項番	調査	頁	問	種類	質問・意見	対応	見解
1	①	1		追加	元気高齢者及び要支援認定者1及び2を区分して集計する必要がある。	○	調査票の表紙に次のとおり設問を加える。 「あなたは要支援認定を受けていますか？」 1 要支援1の認定を受けている 2 要支援2の認定を受けている 3 要支援の認定を受けていない
2	①			意見	要介護認定を受けていない65歳以上と在宅で要支援認定を受けている65歳以上は、1,500人ずつ分けたほうが良いのではないかと回答者が要支援認定者に偏る恐れがある。	×	国基準の調査であるため、調査方法を変えて行う事は難しい。 また、対象者の抽出についても、1号被保険者、要支援1・2の既存の割合で抽出する。
3	①	3	2	意見	「5. その他」具体的に誰と同居しているかを記入してもらったかどうか?(例えば孫とか)	○	国基準の必須項目調査であるが、その他を具体的に記載しても統計には影響がないため可能。
4	①	4	5	追加	1. 持家(一戸建て)に(持ちビル)を追加したらどうでしょう?(2. 持家(集合住宅)とは違うので迷ってしまう。)	×	国のオプション項目のため修正は行えない。
5	①	4	5	意見	調査②の問1及び調査③の問1と回答項目を統一した方が良いかと思われる。	○	全体統計上、国の設問には変更を加えることができないため、②と③を①に合わせる。
6	① ② ③	4 1 3	5 1 1	意見	持家の場合、自宅の支払いは完済かまだローンを支払っているか尋ねてみたらどうか?	○	国基準のオプション項目だが、別質問にすれば統計には影響がないため、問7選択肢3と4の間に「自宅の支払いについて、まだローンを支払っている。」を入れる。調査②問3及び調査③問3も同様

							とする。
7	①	4	5	意見	自己の所有物か？（持ち家かどうか）	×	国のオプション項目のため修正は行えない。
8	①	7	20 20-2	意見	回答は1. 運転している。2. 時々運転している。 3. 運転していない。4. 免許を持つが運転していない、の方が判り易い。	△	意見者の“時々”の概念に基準はなく、運転していることには変わりがないことと、高齢者の運転事故の問題に焦点を当てた設問のため、下記のとおり選択肢を変更する。 「2. 免許は持っているが運転していない。」「3. 免許を取ったことがない。」「4. 免許を持っていたが返納した。」「5. 免許の更新は行わなかった。」
9					又、関連質問の表記（例：【問20で「2. 免許を持ち運転していない。」に○をした方にかかっています。】）は（ ）で薄記表現として、質問タイトル文書を濃く表現した方がよい。	○	設問の表現方法については、今後専門業者と調整するため、今後の参考とする。
10	① ②	9 2	27 5	追加	「今後どのような働き方を希望しますか」の間に「現在どのような働き方をしていますか？」を追加又は問の追加をしたらどうでしょうか？ 目的：70歳を過ぎても現役で就労している人が多くいる。	×	設問数を減らすため、また調査①問52及び調査②問21でも類似の設問があるため、検討段階で削除した。 また、類似の設問があると回答率を下げる傾向があり、国設問の回答率にも影響するため、追加はしない。
11	① ②	11 4	32-1 9-1	意見	「…介護をしている人以外の人への介護や子育て等…」→「…今介護している人以外に他の人の介護や子育て等…」の方が判り易いと思う。	○	区独自設問。調査③問37及び調査④問A8についても同様に修正する。
12					又、関連の質問は調査③の問10・問11の表記が判り易い。	○	設問の表現方法については、今後専門業者と調整するため、今後の参考とする。
13					尚、関連質問は枝番（例：32-1）とするか、通しナンバー（例：33）とするか他の設問を含めて統一されたら良い。	○	
14	①	13	34	意見	調査②及び③のように、高齢者あんしん相談センターの地図を挿入された方が判りやすい。	○	地図を搬入します。

15	①	17		追加	「自身が認知症かもしれないと思ったときに、行政機関などに相談してみる考えはありますか？」 目的：どれくらいの人が情報アクセスの気持ちがあるかを把握したいと考えて。	×	既に問 36 で聞いているため追加しない。
16	① ② ③	21 10 16	49 20 27	修正	「かかりつけ医」→「かかりつけ医又はかかりつけ病院」 かかりつけ医として大病院を利用している人も多いと思われる。大病院は医者が転勤や転務で移動するので「医」としない方が良い。	△	「かかりつけ医」という言葉の定義には、「病院の医師か、診療所の医師か、どの診療科かを問うものではない」とあり、大病院も含まれていると理解される。※印の説明文の文末に、「医師などが特定されなくても、かかりつけの病院などがあればそれも含まれます。」と追記する。
17	① ② ③	23 11 7-8	52 21 12	意見	表の中に数字は入れずに、空欄に○を記入する方法が判り易い。 (他に、⑤6 7、⑤11 12、⑥11 25、⑥14 31)	○	設問の表現方法については、今後専門業者と調整するため、今後の参考とする。
18	②			意見	50～60 歳と 61～64 歳で集計を分けてほしい。そんなに大変でもないだろうと思われるので、分け方を更に 50～59 歳、60～61 歳、62～64 歳と分けたらもっと良いと思うのだが。	×	前回調査との継続性から、5 歳刻みで集計する。
19	②	2	5	意見	対象者の年代的に、「今後…」と尋ねてもいつの時からか迷うのではないか。50 歳の今から、あるいは 60 歳を超えてからか。(60 歳又は 65 歳になってからとか)	○	調査①の調査対象者である 65 歳以上を引用し、「65 歳以降…」とする。
20	②	3	8	削除	重要な設問とは思いますが、皆「自宅」と答えると思われるし、この設問を「介護等について」にどう活かすかの道筋が見えるとは思えないため。	×	終末期の意向について、前回調査から継続して確認したいため存続する。
21	②	5		追加	問 10 の下に、延命治療を希望するか否か？	×	回答結果を施策に反映するのが難しいため。
22	②	11	22	意見	選択肢「3. 参加したくない」の理由を述べる欄を設けては？改善の参考になるかもしれません。 ※ 同じ設問が調査①-P23-問 53 及び 54 (国の必須項目)にある。	×	前回調査であった項目だが、回答の最多が「仕事が忙しい」であり施策に活かしづらく、また設問数を削減するため、検討段階で削除した。
23			23	意見		×	
24	③	1	F1	意見	「(複数回答可)」の意味が不明です。記入代行は 1 名ではなく、複数交代での可能性を考えられてい	△	「複数回答可」→「選択肢 1～6 と 7～8 でそれぞれ 1 つに○。ただし 1 を除く。」に修正する。

					るのでしょうか。		
25	③	19	37	意見	問 31 からは主な介護者についての設問ですが、問 36 では全介護者が対象で、問 37 の対象は主な介護者か全介護者かが不明です。	○	設問項目に「主な介護者は、」を加える。
26	③	5	7	追加	調査①問 33 及び調査②問 10 にある次の選択肢がない。 13. 8050 問題への対応 14. ヤングケアラー問題への対応 15. ダブルケア問題への対応	○	調査③に左記の選択肢を加える。
27	③	13	21	追加	選択肢に「8. その他」を加える。	○	区独自設問。併せて、調査①問 38 及び調査②問 15 も修正する。「その他」を具体的に聞く。
28	③	14	24	追加	「1. 取り組んでいることがある」と回答した方へ（それはどんな事ですか？）と尋ねるのも良いかと？	×	本設問は、介護予防を目的に行うもので、既に取り組みのある方については、この目的がある程度達成している方と考えられる。 また、取り組みの有り無し両者に対しては、問 26 で「今後取り組んでみたいこと」を聞いており、この回答からおおよその結果が類推できると考えた。さらに設問数の削減のため今回はあえて削除した。
29	③	17	30	修正	「1/4」→「1/3」	○	
30	③ ③ ④ ④	18 23 2 6	35 47 A6 B6	意見	身体介護・生活援助・その他の枠別回答に分けず、区分枠なしの通しナンバーへ変更	×	調査③は国の必須項目、調査④は国のオプション項目のため難しい。
31	③	19	38	修正	「…調査してください。」→「…回答してください。」	○	誤りのため修正する。
32	③	20	39	修正	選択肢 1. 及び 2. を回答した人へ「問 40～問 42 へ」	○	項番 12 と同じ。
33	④	1	F1	意見	聞き取り対象が「(複数選択可)」であり、その後の設問について懸念があります。P2 からの設問は全員対象としての記載により、例えば問 A12 など「1. 入所・入居は検討していない」「2. 入所・入居を検討している」など相反する回答が出る可能性	△	③ 1 ページの前書きにならい、次の文言を追記する。 「問 A については、調査対象者ご本人にお聞きください。ご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方などがご本人の意向を汲み取り、代わりに回

					が考えられます。1件の回答として統計的に問題はないでしょうか。		答してください。」 「問 B については、調査対象者ご本人を主に介護しているご家族の方がお答えください。」  なお、④の聞き取り相手を聞く設問は、国が用意した設問でもあるため、このまま残す。
34	④	2	A9	修正	子育てと介護を一緒にくくるのはおかしいと思う。 「介護（子育て等を含む。）の対象者全員」→「介護される人及び子育て支援者の人等全員」	○	調査①問 32-2、調査②問 9-2 及び調査③問 38 についても同様に修正する。
35	④	4	A15	修正	「以外」がどこまでにかかるのか曖昧。 「以外の」→「は除く」	×	国のオプション項目のため修正は行えない。
36	④	5	B2 B3 B4 B6	削除	問文章で「主な介護者の方は…」と聞いているのだから、問 B2 の 6、問 B3 の 11、問 B4 の 5、問 B6 の 17 の選択肢は不要。	×	介護離職についての設問であり、国の厳選、必須及びオプション項目でもあることから、削除はしない。
37	④	5	B5	意見	選択肢 4 が抜けているが、番付けを間違えただけなのか？又は項目を落としたか？	○	番付け誤りのため、修正する。
38	④	5	B5	修正	「どのくらい外出するか」という設問なので、回答は「週に何回外出するか」という表現になるかと思えます。3. 5. 6. は時々外出する範囲に含まれる。7. 8. は不要です。	△	調査③問 43～45 も同様であり、これらも併せて、次の通り修正する。 1、ほとんど毎日外出する 2、週に 3～4 日は外出する 3、人付き合いがあり、ときどき外出する。 4、人付き合いも無く、ほとんど外出しない。
39	④	6	B5-1-1	修正	自由記載欄が、自由に書くにはスペース不足	○	設問の表現方法については、今後専門業者と調整するため、今後の参考とする。
40	⑤	2	1	修正	設問の末尾に「一つだけ選んで下さい」と記載	○	設問の表現方法については、今後専門業者と調整するため、今後の参考とする。
41	⑤	7	7-1-3	修正	「昼勤」→「日勤」	○	
42	⑤	8	9	追加	I C T に注を加える。	○	注として「I C T…情報通信技術 (Information

					※ I C T Information and Communication Technology		and Communication Technology)。」を加える。
43	⑤	8	9	追加	E P Aにも英語の正式名称を記載するか。	○	注として「E P A…経済連携協定 (Economic Partnership Agreement)。」を加える。
44	⑤	10	11-1	意見	「4. 被保険者とのコミュニケーション」と「5. …利用者等とのコミュニケーション」は同じ？	○	選択肢を統合して「4. 利用者や従業員同士のコミュニケーション」とする。
45	⑤	14	19-2	意見	「3 加齢や認知症などが原因なので仕方がない。」は、加齢や認知症によりハラスメントをするという印象を与えてしまう… また、問が「…どのように取り組んでいますか」なのに選択肢が「仕方がない」では感想になってしまう。	○	加齢等によりハラスメントをする印象は与えないが、例えば「3 加齢や病気の影響による可能性があるため、経過を見ながら対応するよう従事者に説明している。」とする。 問は「…どのように取り組んでいますか」→「…どうされることが多いですか」に修正し、選択肢を選ぶ数は「(1つに○)」とする。
46	⑤	14	20	追加	B C Pに注を加える。 ※ B C P Business Continuity Plan	○	注として「B C P…事業継続計画 (Business Continuity Plan)。発災時に事業を継続するための計画。」を加える。
47	⑤	14	20	追加	選択肢に「家族との連絡手段の確保」を追加	○	
48	⑤	15	22	修正	選択肢3. の「道具を整備している」は、余り見慣れない表現である。	○	「道具を備え付けている」に修正する。
49	⑤	18 19	29 30	意見	「利用者の子ども (20代頃まで) が、主に利用者の介護を行っている」→「主な介護を行っている家族等が若年 (20代頃まで) である (あった)」 目的：設問に「利用者の子ども」とあるが、子どもとは限らない (孫、姪など)。	○	「ヤングケアラーについての設問です。利用者の子ども (20代頃まで) などが、主に利用者の介護を行っている」とする。 問 28 も冒頭に「ダブルケアについての設問です。」と入れる。
50	⑥			その他	次のとおり調査名を変更すること 「介護従事者調査」→「介護事業従事者調査」	○	
51	⑥	2	4	修正	選択肢「…を含む。」→「等」？	△	選択肢を次のように修正する。 1. 施設系 (有料老人ホーム、グループホーム等を含む。) 2. 訪問系 (居宅介護支援事業所、地域包括支援セ

						<p>ンターを含む。)</p> <p>3. 通所系（小規模多機能型居宅介護等を含む。)</p> <p>4. その他（ ）</p>
52	⑥	5	14	意見	<p>調査⑤の問8（管理者の取組）とリンク（連動）させなくてよい？キャリアアップ、ワークライフバランスがない。</p>	<p>調査⑤の問8を、人材確保のために事業所が行っている「広報」と「企業方針」に分け、それに応じるように調査⑥の問13と問14を整理する。</p> <p>⑤介護サービス事業所調査 問8 介護人材を確保するため、どのような取組を実施されていますか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p><b>広報活動等</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハローワーク、新聞広告等の求人募集</li> <li>2. 就職相談会・説明会の開催</li> <li>3. 学校・養成施設等へのPR活動</li> <li>4. 事業所員による勧誘活動</li> <li>5. 事業所見学・実習生の受け入れ等</li> <li>6. 介護の魅力を発信するイベント等を行っている</li> <li>7. その他（ ）</li> </ol> <p><b>企業方針等</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 採用にあたり、事業所の経営理念、運営方針、業務内容等を十分説明し、就労後のミスマッチの解消に努めている</li> <li>9. 従業員が育児や介護のために仕事と家庭生活の両立ができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進をしている</li> <li>10. 従業員の賃金について、職能給や業績給などキャリアに連動した給与体系を整備している</li> <li>11. 教育研修や資格取得支援等を行い、従業員の人材育成に努めている</li> <li>12. 従業員が悩みや不安・不満、疑問点等を上司</li> </ol>





							ら 8. 通勤の便が良かったから 9. 夜間勤務がないから 10. 人間関係が良好そうだから 11. やりたい職種・仕事内容だったから 12. 能力や資格が活かせるから 13. 正規職員として働けるから 14. その他( ) 15. 特に理由はない
53	⑥	7	17-2	修正	OJTにも英語の正式名称を記載するか。	○	注として「OJT…現任訓練(On-the-Job Training)。職場で業務を通して指導を行うこと。」を加える。
54	⑥	12	27	修正	設問項目の修正 「労働条件」→「労働条件(給与の額も含む。)」	×	給与の額のみ特記する必要がないと思うため。
55	⑥	16	34	修正	設問「介護職を…」→「介護の仕事を…」とする 目的: 看護職の人もいる。	○	併せて、問33の問を「今後、介護に携わる人材…」とする。
56	⑥	17	34-1	修正	設問項目の修正 「項番34のように回答した理由…」→ 「項番34で勧めたいと回答した方はその理由…」	△	「問34の回答を選んだ理由…」とする。
57	⑥	17	35	修正	設問項目の修正 「文京区の介護保険制度」→ 「文京区の福祉事業や介護保険制度」	△	「文京区の高齢福祉施策や介護保険制度」とする。併せて、調査⑤問31も同様に修正する。